

「(仮称) 柏崎市鯨波産業団地」整備に向けた経過報告

本市における企業立地の新たな受け皿として、令和 4 年度 (2022 年度) 実施の企業立地適地調査結果を踏まえ、鯨波地内の該当地に「(仮称) 柏崎市鯨波産業団地」を造成するため、本年度から来年度にかけ、開発予定地の現況把握及び開発の基本方針等をまとめ、産業団地造成にむけた基本構想を策定する。

1 土壤汚染調査の結果について (財政管理課)

(1) 土壤汚染調査結果

公有地の一部 (クレー射撃場使用場所: 昭和 42 年 (1967 年) ~ 令和 4 年 (2022 年) 使用) で、使用されていた鉛弾による土壤汚染 (砒 (ひ) 素及び鉛) が確認された。土壤汚染が確認された範囲は【別紙 1】のとおり。

ア 基準超過状況

有害物質の種類	基準超過状況	基準値
砒素及びその化合物	0.023~0.028mg/L	0.01mg/L 以下
鉛及びその化合物	0.011~1.7mg/L	0.01mg/L 以下

有害物質の種類	基準超過状況	基準値
鉛及びその化合物	200~9,200mg/kg	150mg/kg以下

イ 水質試験の結果、敷地外への排水が排水基準値に適合していることを確認した。

有害物質の種類	分析結果	排水基準値
砒素及びその化合物	検出されず	0.1mg/L 以下
鉛及びその化合物	検出されず	0.1mg/L 以下

(2) 調査地の現状

土壤汚染による健康被害は土壤に含まれていた有害物質が人の体内に取り込まれることから生じるが、周辺の土地で地下水の飲用等が確認されていないこと、汚染範囲への立入りが関係者以外禁止されていたことから、安全性に問題はない。

2 基本構想策定業務受託者決定に向けた公募型プロポーザルについて (ものづくり振興課)

(1) 日程概要

ア 公募開始の公告 令和 5 年 (2023 年) 10 月上旬

イ 技術提案書の審査 令和 5 年 (2023 年) 11 月上旬

(2) 契約期間

令和 5 年 (2023 年) 11 月上旬 から 令和 6 年 (2024 年) 7 月下旬まで

(3) 提案限度額

11,294,000 円 (予算上限)

(4) 業務内容

ア 本市の現状分析

- イ 開発の基本方針の策定
 - ウ 開発予定地の現況把握
 - エ 土地利用計画案の策定
 - オ 基本計画案の策定
 - カ 事業化計画の策定
- (5) 該当エリアの概要
- ア 所在地 新潟県柏崎市大字鯨波字天満丙 4 2 6 番地 1 ほか
 - イ 敷地面積 約 13 h a
- 【内訳】 公有地約 8.2 h a、民有地約 4.8 h a
- (6) 【参考】市内産業団地の規模
- | | |
|-----------------------|----------|
| ア 田尻工業団地 (安田地内) | 36.8 h a |
| イ 機械金属工業団地 (田塚地内) | 12.0 h a |
| ウ 柏崎フロンティアパーク (軽井川地内) | 15.4 h a |